

# 横浜国立大学 決算報告書

(様式2)

## 平成17年度 決算報告書

国立大学法人横浜国立大学

(単位：百万円)

区分	予算額	決算額	差額 (決算-予算)	備考
収入				
運営費交付金	8,866	8,866	0	
施設整備費補助金	0	8	8	(注1)
船舶建造費補助金	0	0	0	
施設整備資金貸付償還時補助金	671	2,012	1,341	(注2)
補助金等収入	0	159	159	(注3)
国立大学財務・経営センター施設費交付金	47	47	0	
自己収入	6,191	6,408	217	
授業料、入学料及び検定料収入	6,073	6,195	122	(注4)
附属病院収入	0	0	0	
財産処分収入	0	0	0	
雑収入	118	213	95	(注5)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	1,198	1,363	165	(注6)
長期借入金	0	0	0	
貸付回収金	0	0	0	
承継剰余金	0	0	0	
旧法人承継積立金	0	0	0	
目的積立金取崩	0	0	0	
計	16,973	18,863	1,890	
支出				
業務費	11,012	11,042	30	
教育研究経費	11,012	11,042	30	(注7)
診療経費	0	0	0	
一般管理費	4,045	3,584	△461	(注8)
施設整備費	47	55	8	(注9)
船舶建造費	0	0	0	
補助金等	0	159	159	(注10)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	1,198	1,299	101	(注11)
貸付金	0	0	0	
長期借入金償還金	671	2,012	1,341	(注12)
国立大学財務・経営センター施設費納付金	0	0	0	
計	16,973	18,151	1,178	
収入-支出	0	712	712	

- (注1) 補正予算により8百万円の増額となっています。
- (注2) 補正予算により1,341百万円の増額となっています。
- (注3) 機関補助である補助金の収入増となっています。
- (注4) 授業料増収分99.4百万円、入学料増収分16.3百万円、検定料6.2百万円となっています。
- (注5) 科研等の間接経費が年度計画(中期計画)上産学連携等収入に積算されている為、間接経費79百万円の増額となっており、年度計画想定収入が20百万円増額となっています。また、その他年度計画収入減が4百万円の減額となっています。
- (注6) 産学連携等研究収入の収入増により134百万円の増額及び寄付金事業費等の収入増により31百万円の増額となっています。
- (注7) 年度計画においては、一般管理費に積算されているが、決算上は、教育研究経費にて計上されていることにともなう増額及び収入増に伴う追加配分(間接経費等)による増額並びに、中途退職予定者減に係る退職手当減額により30百万円の増額となっています。
- (注8) 次年度への雇用見送りに伴う減額及び中途退職予定者に係る退職手当等の人件費により461百万円の減額となっています。
- (注9) 補正予算により8百万円の増額となっています。
- (注10) 機関補助である補助金の収入増に伴う支出増となっています。
- (注11) 産学連携等研究経費の収入増に伴う支出増により121百万円の増額及び寄付金事業費等の支出減により20百万円の減額となっています。
- (注12) 補正予算により1,341百万円の増額となっています。